

長鯨丸(ちょうげいまる)
は、明治3年、亙理から
の第1回移民団250名
を乗せ、新天地を目指
して船出しました。

長鯨丸

伊達市立東小学校
コミュニティスクール通信
第2号
令和3年12月1日
発行

令和3年11月28日(日)に、第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、これまでの教育活動や児童の様子、今後について、熟議がなされました。主な協議・報告は次の通りです。

1 学校の取組等に関して

学校から、全国学力・学習状況調査、体力テスト、いじめ・不登校、稀府小学校との交流、姉妹校亙理小学校との交流などについての説明がありました。その中から、いくつかの話題で質問や意見が交わされました。一部になりますが紹介します。

- インターネットを介したいじめについては、学校も家庭もなかなか把握できない中で起きる可能性がある。家庭はそのような危険性を理解したうえで、スマホやゲーム機を与えているのか心配な面がある。学校では児童向けの安全教室を開いているが、今後は保護者向けにも学ぶ機会や場が必要。
- いじめアンケートでは「誰にも相談しない」と回答した児童がいる。児童生徒の自殺のニュースが増える中、相談する意識や相談できる環境をしっかりと準備していくことも大切。学校でも、そのような回答をした児童と面談して働きかけを行っているが、多くの目で気を付けて見ていくことが、子供のサインに気付くことに繋がる。
- タブレットの活用が進んでいるが、学校では先生たちの研修を行ってきていることが、授業での活用に結び付いていると感じる。なかなか忙しい中で時間を取るのも大変と思うが、必要なことでもある。先生たちの負担が大きくなりすぎない程度で、今後も研修を進めてほしい。
- 2学期に大きな行事が集中し、子供も先生も負担が大きかったと思う。コロナの影響で仕方ないが、大きな行事は学期に一つというのが望ましい。今後は、負担が大きくなるよう計画していくことが大事。



2 統合に関して

稀府小との統合に向け、交流学习実施に伴う、スクールバス運行状況について委員の皆さんからご意見がありました。

- 現在は黄金地区児童がバス利用しているが、4月には稀府地区児童も同じバスに乗車となり運行形態が変わることから、黄金地区の家庭に心配事など記入するアンケートを実施、集まった意見等は市教委に連絡済と学校から報告がありました。
- 黄金地区バスに稀府地区児童も乗ること、黄金地区児童の乗車時間が延び、40分もバスに乗って通うのは大きな負担。黄金地区1台、稀府地区2台で運行できると負担は減る。過渡期のため数年間の対応と考えるが、子供たちのことを考えた対応が求められる。次年度の東小学校児童のために、統合準備協議会でしっかり協議してほしい。

学校運営協議会(コミュニティスクール)を中核として、地域・保護者の皆様と共に教育活動を行い、東小学校の子ども達がより良く育ち、社会に出たときの「生きる力」を身に付けさせることができるよう取組を進めていきます。今年度も皆様のご理解ご参画をお願いいたします。